

2024セントラルジャパンホルスタインショウが開催されました

2024セントラルジャパンホルスタインショウ（セントラルジャパンホルスタイン改良協議会主催）が静岡県の御殿場市馬術・スポーツセンターで開催され、4月26日（金）に未經産クラス、4月27日（土）に経産クラスの審査とチャンピオン決定戦が行われました。開会式では昨年度グランドチャンピオンを受賞した、伊勢原市の（有）徳晴牧場の柏木利彦氏よりカップの返還が行われました。

各都府県の共進会およびブラックアンドホワイトショウで上位に選出された乳牛が、都府県ホルスタイン改良同志会を通して出品され、月齢に応じて15部に分類され各部ごとに厳正に審査を受け、最後に全ての部類の中から最高位であるグランドチャンピオンが決定されました。

今回、オフィシャル審査員はシーメックス アライアンス社プロダクト アクイジション スペシャリストのポール トラップ氏、アソシエート審査員は北海道酪農家の吉田 智貴氏が務められました。17都府県から未經産クラスで73頭、経産クラスで86頭、合計159頭と多くの出品がありました。体型と資質に優れたすばらしい乳牛が一堂に会し、円形歩行で審査員の審査を受ける様子は圧巻でした。会場には多くの関係者、見学者が応援に駆け付け、部類ごとの審査が終わり各部のチャンピオンが決まる度に盛大な拍手が送られるなど賑わいを見せていました。

グランドチャンピオンを獲得したのは、群馬県より出品された9部の乳牛でした。

本県からは、令和6年3月24日に開催された第52回神奈川県ブラックアンドホワイトショーにおいて、上位入賞を果たした22頭が出品され、5部でリザーブチャンピオン（伊勢原市 高橋純徳氏 出品）を受賞するなど、多くの本県出品牛が上位入賞を果たしました。

ショウの当日に至るまで、牛を良好なコンディションに保ち続け、入賞に至ったことは高い飼養管理技術の証です。また、県内で育てられた牛が優れた資質を備えていると高く評価されたことは、本県の酪農家にとって大きな励みになるとともに、県内酪農家の努力が実を結ぶ結果となり、厳しい酪農情勢の中で明るいニュースとなりました。

畜産技術センターは、今回出品された乳牛の体型や資質の評価をふまえ、今後とも各農場の乳牛改良に向けた技術支援に努めていきます。



グランドチャンピオンカップ返還の様子



第5部でリザーブチャンピオンを受賞した県内の牛